

施策項目 1 1 体験活動の推進

[評価結果]

【担当課:社会教育課(義務教育課)】



担当課HP

総合評価	進展あり
-------------	-------------

定量評価 [指標]	C
-----------	---

指標	評点	(a)	(b)	(c)	(d)
	評価数	1	0	0	1
	d評価となった指標	①			

定性評価 [施策]	進展あり
-----------	------

道立青少年体験活動支援施設の利用者数は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館や宿泊利用定員を制限したため、目標値には達しなかったものの、宿泊研修等で利用する学校や団体への事前プログラム相談や各施設の特色や地域資源を生かしたプログラムの整備・開発のほか、SNSを活用した事業内容の発信など、体験活動の普及啓発のための情報発信に努めた。また、中止になった事業があったものの、未就学児(親子)を対象とした事業については、6施設全体で29事業を実施し、前年度よりも割合が増加した施設が3施設あったことから施策の進展が認められる。

[施策の推進状況]

【P】・・・「Plan 令和3年度の主な施策」 【D】・・・「Do 主な取組の状況」
 【C】・・・「Check 施策の課題」 【A】・・・「Action 今後の方向」

《課題・背景》	(1)学校における多様な体験活動の推進 ・道立青少年体験活動支援施設において体験活動プログラムの開発・整備を行い、学校への情報提供が必要
	(2)地域の特色を生かした体験活動の推進 ・民間団体等と連携し地域の教育資源を活用したプログラム開発が必要

(1)学校における多様な体験活動の推進	
【P】 次年度へ	<p>①学校における体験活動の充実が図られるよう活動支援や情報提供の実施 ②宿泊研修での実施に向け児童生徒を対象とした防災に関するプログラムを開発</p> <p>①・宿泊研修でネイバルを利用する学校に対する事前のプログラム相談の実施(公立学校のうち小学校30.3%、中学校25.6%、高等学校24.3%、特別支援学校9.7%が利用) ・ネイバル体験活動報告書の作成(道教委HPで公開) ②宿泊研修等での提供を目的に開発した防災プログラムをネイバルで試行実施(3施設で106名参加)</p>
【A】	<p>①施設利用案内の充実を図るとともに、学校の向けのわかりやすい資料を作成し提供するほか、より実践的な体験プログラムを提供 ②児童・生徒の発達段階を踏まえた防災プログラムの実施と活動の振り返りによって「主体的で安全に行動できる力」と「すすんで貢献する態度」を育成</p> <p>①体験活動を充実させるためには、専門的なアドバイスが不可欠であることから、より質の高い活動を実施できるよう相談に応じるとともに、事前にプログラムを吟味することの大切さや効果などを知らせることが必要 ②参加者の年齢によって内容の理解度に差が見られたことから、児童・生徒の発達段階を踏まえたプログラムの立案や、学びの定着を図るため、体験したことを日常に生かす方法などについて話し合う時間を確保することが必要</p>
(2)地域の特色を生かした体験活動の推進	
【P】 次年度へ	<p>①民間団体、関係機関等と連携した事業の実施 ②体験活動の普及・啓発のために、広報や各種資料等の情報発信</p> <p>①縄文やアイヌ文化など地域の特色あるプログラム、防災や新たな水上スポーツなどの施設周辺の特色を生かした事業等の実施(全6施設で134事業、5,696名参加) ②SNSを活用した広報の実施(全6施設:道庁ブログ等を活用245件)</p>
【A】	<p>①ネイバルの指定管理者や地域の民間団体等との連携による地域の教育資源を活用した新たなプログラムの開発と実施 ②閲覧する世代を意識したSNSの使い分けに加え、地元の地方紙等のマスコミを介した情報の発信</p> <p>①地域の特色や特性を生かした事業については、学校や地域からの要望があることから、地域の教育資源の発掘や指定管理者のノウハウなどを活用したプログラムの開発が必要 ②SNSには利用する世代や掲載に適したコンテンツなどに違いがあることから、より多くの道民に体験活動の必要性や成果等の情報を提供するためには、様々なメディアを効果的に活用することが必要</p>

[指標の状況及び評価]

指標の内容	基準値	目標値（上段）					進捗率	評価	出典 (調査名等)	実施主体	調査期 日又は 調査対 象期間	指標の 対象
		実績値（下段）										
		(H29)	(H30)	(R元)	(R2)	(R3)						
① 道立青少年体験活動支援施設の利用者数(人)	(H24～ H28 の平均) 233,039	(毎年度) 233,039人以上					32.5%	d	・道立青少年 教育施設利用 統計シート ・青少年教育 施設利用状況 調	道教委	R3.4.1～ R4.3.31	施設利用 者
② 道立青少年体験活動支援施設が実施する主催事業 における未就学児(親子を含む)を対象とした事業 の割合(%)	(H28) 17.4	(毎年度) 20%以上					100.5%	a	・道立青少年 教育施設月例 報告	道教委	R3.4.1～ R4.3.31	未就学児 対象事業
評価結果	(a) 指標数	(b) 指標数	(c) 指標数	(d) 指標数	定量評価		C	d評価に対 する今後の 取組	① 令和4年度においては宿泊 利用定員の制限を解除する が、感染拡大により、臨時 休館や再び、利用定員を制 限することも想定される が、年間を通して、目標値 を達成するよう利用促進を 図る。			
	1	0	0	1								